

調査番号	3	分野名	育種	予算区分	国庫・県単
調査名	スギ花粉発生源地域推定事業				
担当者名	丸山 友行・井上 歩		調査期間	平成 26 年度～	

目 的

近年、国民的な広がりを見せているスギ等の花粉症について、花粉発生源対策をより効果的に推進していくためには、都市部へのスギ花粉飛散に強く影響している地域を推定し、対策の重点化を図っていくことが重要である。そのため、スギの雄花着花状況について調査を実施した。

方 法

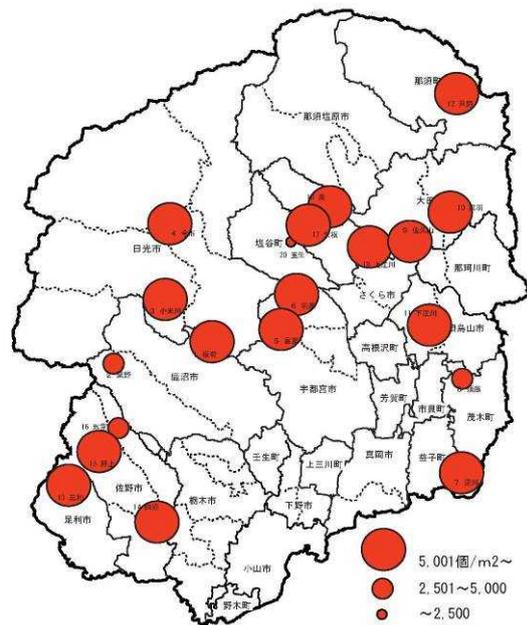
県内のスギ分布区域において、雄花が黄色みを帯び、葉が緑色を保っている 11 月中旬から 12 月上旬に調査を実施した。20 箇所の定点を設定し、1 箇所につきスギ 40 本を無作為に抽出して樹冠部の雄花の着花状況を観測した。雄花の着花状況は 4 段階に区分し、そこから雄花指数を算定して雄花着花量を推定した。

結果概要

県内 20 箇所における雄花の着花状況は表－1、図－1 のとおりである。
20 箇所中、一番多いところで 7,302 個/m²、少ないところで 1,366 個/m²であり、平均は 5,630 個/m²であった。

表－1 雄花着花状況

略 称	雄花指数	推定雄花数
板荷	1,720	6,286
栗野	820	3,011
小来川	1,440	5,269
今市	1,680	6,141
富屋	1,800	6,576
羽黒	2,000	7,302
逆川	1,480	5,414
須藤	980	3,595
佐久山	1,720	6,286
黒羽	1,800	6,576
下江川	1,850	6,926
芦野	1,600	5,850
三和	1,590	5,814
田沼	1,550	5,668
野上	1,620	5,923
氷室	1,350	4,942
矢板	1,890	7,074
泉	1,760	6,431
上江川	1,680	6,141
玉生	370	1,366
平均		5,630



図－1 定点調査結果